

第26回日本少年野球



スポーツニッポン旗争奪大会

スポニチ

大会期日 2021年4月3日・4日・10日 予備日4月11日

場 所 碧南臨海球場・毘森球場・他

主 催 公益財団法人 日本少年野球連盟 愛知県中央支部

共 催 スポーツニッポン新聞社
愛 知 銀 行



後 援 公益財団法人 日本少年野球連盟





公益財団法人 日本少年野球連盟

BOYS LEAGUE

愛知県中央支部

野 球 を し な が ら
団 結 ・ 友 愛 ・ 規 律 ・ 勇 気 ・ 忍 耐
を 身 に つ け よ う

(公財) 日本少年野球連盟規約 第3条

本財団は、ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に

正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の錬磨と

スポーツマンシップを理解させることに努め、

規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、

もって次代を担う少年の健全育成を図ることを目的とする。

公益財団法人 日本少年野球連盟

会長 惣田 敏和

[本部] 大阪市浪速区日本橋西1丁目3番19号
南海日本橋ビル2階

TEL (06) 6649-0061

野球をやるならボーイズリーグ

第26回スポーツニッポン旗争奪大会役員名簿

《大会会長》		《大会顧問》	
愛知県中央支部支部長	田畑良一	日本少年野球連盟会長	惣田敏和
《大会副会長》		日本少年野球連盟副会長	堀内健
(株)スポーツニッポン新聞社 大阪本社販売局長	村上勝	日本少年野球連盟担当理事	脇田勝
(株)スポーツニッポン新聞社 大阪本社販売局専門委員	岸本博志	《大会参与》	
		愛知県中央支部相談役	深谷博之
《大会運営委員長》		《大会事務局長》	
中央支部企画運営部長	東亜行	愛知県中央支部事務局長	三河一輝
《大会運営副委員長》		《大会副事務局長》	
中央支部行事委員長	松尾勝	愛知県中央支部副事務局長	石川博章
中央支部企画運営副部長	多和田健次	《大会広報委員長》	
中央支部行事副委員長	三河一輝	愛知県中央支部広報委員長	石川博章
《大会運営委員》		《大会広報委員長》	
愛知安城ボーイズ代表	西脇利幸	愛知県中央支部副広報委員長	—
愛知セントレアガールズ代表	阿部充則	《大会会計部長》	
愛知刈谷ボーイズ代表	鈴木直実	愛知県中央支部会計部長	加藤剛司
愛知知多ボーイズ代表	濱野晃一	《大会会計副部長》	
愛知知立ボーイズ代表	土屋尚史	愛知県中央支部会計副部長	鈴木直実
愛知東郷ボーイズ代表	黒沢淳	《大会審査指導部長》	
愛知名港ボーイズ代表	友田淳雄	愛知県中央支部審査指導部長	丸山晋弘
愛知港ボーイズ代表	小河徳和	《大会審査指導副部長》	
中京ボーイズ代表	森義弘	愛知県中央支部審査指導副部長	—
豊田ボーイズ代表	多和田健次	《大会審判長》	
名古屋ボーイズ代表	田中秀明	愛知県中央支部審判長	鶴見淳
名古屋中央ボーイズ代表	樋田善光	《大会副審判長》	
名古屋緑ボーイズ代表	坂野晃嗣	愛知県中央支部副審判長	高岡晋
東名古屋ボーイズ代表	千田知弘		北山肇
三好東郷ボーイズ代表	鳥居剛	《大会審判員》	中野英志
			支部審判員諸

あなたの、
いちばん、ちかくに。
愛知バンク。



Littlelovin

© 2016, 2017 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G580293

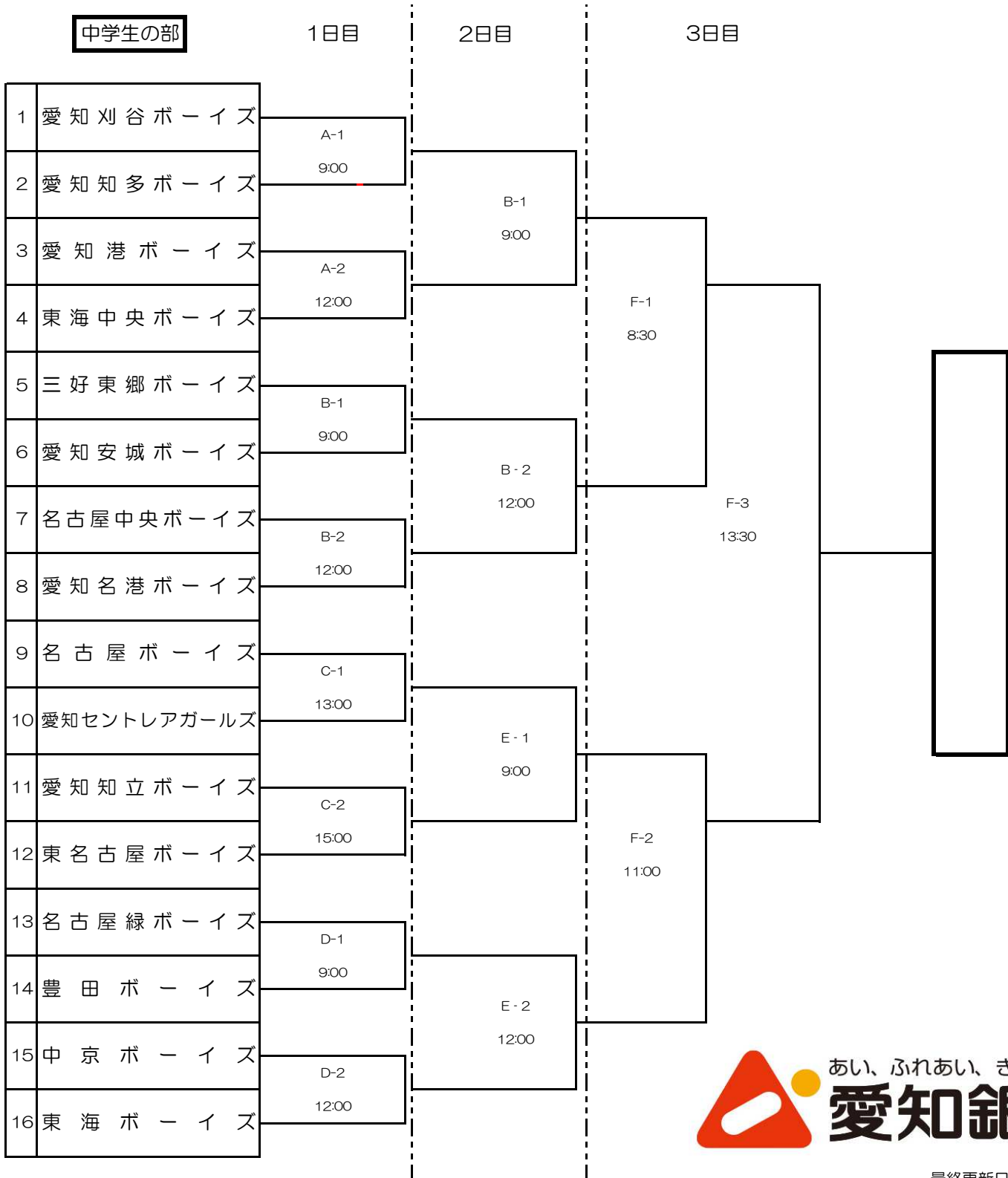
愛知銀行はボーイズリーグを応援しています。



第 26 回 ス ポ ー ツ ニ ッ ポ ン 旗 争 奪 大 会

		本部	【グラウンド担当】
1 日 目	2021年4月3日(土)	A 球場 ◎ 碧南臨海球場 B 球場 毘森球場 C 球場 中央発條藤岡グラウンド D 球場 鶴弥阿久比工場グラウンド	愛知刈谷ボーイズ 三好東郷ボーイズ 名古屋ボーイズ 名古屋緑ボーイズ
2 日 目	2021年4月4日(日)	B 球場 ◎ 毘森球場 E 球場 愛知黎明高校グラウンド	三好東郷ボーイズ 名古屋ボーイズ
3 日 目	2021年4月10日(土)	F 球場 ◎ 北勢球場	
予 備 日	2021年4月11日(日)	G 球場 未定	

中学生の部



大会規定

- 1・1チームの登録選手は中学生の部は11名以上25名以内（ベンチ入りは20名以内）とする。
- 2・出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟へ登録済みの者に限る。
- 3・審査証は当年度発行のものとする。
- 4・登録選手および登録されたチーム責任者（代表またはそれに代わる責任ある者でチーム責任者証を携帯している者）、監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることができる。但し各種登録証（チーム責任者、監督、コーチ）及び審査証（選手）を携帯していない場合は、いかなる場合でもベンチには入れないが、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、その時点で審査のうえベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、ベンチ入りを認める。
- 5・チーム責任者が不在の場合は試合ができない。
- 6・組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。但し、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
- 7・監督（背番号60）、コーチ（背番号50）は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 8・試合開始時刻60分前に試合場に到着し、直ちにオーダー表を5部、投球回数記録副表3部及び大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出の上、所定の審査を受けなければならない。
- 9・オーダー表交換時に両キャプテンにより、先行、後攻をジャンケンで決める。
- 10・試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときは、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- 11・試合方法など
 - (1) 各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する）。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則 7.01(a)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - (2) 4回終了時10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3) 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回（決勝戦は10回）あるいは試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えては（どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照）
- 12・(1) **投手・捕手については投球数を暫定的に採用する**
詳細については別紙参照
- 13・(1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。（選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。）
 - (2) 守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
 - (3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
 - (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
- 14・1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
- 15・審判員の判定に対する抗議は認めない。但し、ルールの適用についての確認は認める。
- 16・監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと。（ベンチからは駆け足で）
- 17・2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 18・ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中、塁上走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
- 19・投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
- 20・各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具（マスク、捕用手ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ）2組を備えること。一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く。

- 21・ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
- 22・捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 23・グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 24・ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 25・光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 26・試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- 27・守備側チームの監督が故意四球とする意思を球審に示して、打者が一塁を与えられたときには、故意四球が記録される。

参考

野球規則 7.02(a)

4.12(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

(1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

(2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってホームチームが同点かたはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイプブレイク実施細則》

(1) 特別規則

- (イ) 延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて(いずれか早い方)決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は9回あるいは2時間00分を超えて(いずれか早い方)両チームの得点が等しい時以降の回の攻撃の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
 - (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。
 - (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。
- (二) この場合の代打および走者は認められる。

【 投球数制限について 】

- ・2021年度は周知期間とする
- ・2022年度よりすべての構成団体において完全適用とする

1. 中学生（レギュラーの部）

1) レギュラーの試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大80球とし連続する2日間で120球以内とする
連続する2日間で80球を超えた場合、3日目は投球を禁止する
- ② 3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を40球以内とし、
4連投（連続する4日間）は禁止とする
なお当該投手の投球制限内での投球カウントの停止は行わない
* 1日の試合数は問わない
- ③ 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可能とする
- ④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、
当該打者の打席終了までは投球を認める
投球数を超過した球数は翌日以降に投球数にカウントしない
3連投させたい場合の1日目及び2日目の40球以上はカウントされる
- ⑤ 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、翌日は捕手としても
出場できない
- ⑥ ボークは投球数としない
- ⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）
- ⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする

2) 練習の中での全力投球は以下の通りとする

- 1日70球以内、週350球以内とする
また週1日以上、全力による投球練習をしない日を設ける事

「中学生投手の投球数制限統一ガイドライン」の適用例

	第一 日 目	第二 日 目	第三 日 目	第四 日 目	第五 日 目	備 考	
投手A	80	0	80	0	80	1日80球以内、翌日投手として出場しなかったため、第3日目と5日目は80球の投球が可能。	
投手B	80	0	80	40	休	1日80球以内、翌日投手として出場しなかったため、第3日目80球の投球が可能。 第4日目は40球の投球が可能、第5日目は連続する2日間で80球を超えたため投手・捕手として出場できない。	
投手C	40	40	40	休	80	1日40球以内なので3連投（連続する3日間）できる、4連投（連続する4日間）は禁止。 3連投した投手は翌日は捕手としても出場できない。 第4日目を投手として出場しなかったため第5日は80球の投球が可能。	
投手D	80	40	休	80	40	1日80球以内、2日間で120球以内。連続する2日間で80球を超えたため、翌日は投手・捕手として出場できない。 第3日目に投手として出場しなかったため、第4日目は80球の投球が可能。また第5日目は40球の投球が可能。	
投手E	80	0	80	20	休	20	1日80球以内、翌日投手として出場しなかったため、第3日目は80球の投球が可能。 第4日目は40球の投球が可能、※1日の試合数は問わない 第5日目は連続する2日間で80球を超えたため投手・捕手として出場できない。
投手F	45	30	休	80	30	10	2日間で80球を超えていないが、第1日目に40球を超えているため、3連投（連続する3日間）はできないが、第3日目は捕手として出場することができる。 第4日目は80球の投球が可能、第5日目は40球まで投球可能。 ※1日の試合数は問わない

※数字は投球数。「休」は投手または捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

2. 中学生（ジュニアの部）

1) ジュニアの試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大70球とし連続する2日間で110球以内とする
- ② 3連投（連続する3日間）は禁止する
* 1日の試合数は問わない
- ③ 大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目は70球の投球を可能とする
- ④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、当該打者の打席終了までは投球を認める
投球数を超過した球数は翌日以降に投球数にカウントしない
- ⑤ 連続する2日間で70球を超えた投手、並びに2連投した投手は、翌日は捕手としても出場できない
- ⑥ ボークは投球数としない
- ⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）
- ⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする

2) 練習の中での全力投球は以下の通りとする

1日60球以内、週300球以内とする

また週1日以上、全力による投球練習をしない日を設ける事

「中学生投手の投球数制限統一ガイドライン」の適用例

	第 一 日 目	第 二 日 目	第 三 日 目	第 四 日 目	第 五 日 目	備 考
投手A	70	0	70	0	70	1日70球以内、翌日投手として出場しなかったため、第3日目と5日目は70球の投球が可能。
投手B	70	0	70	40	休	1日70球以内、翌日投手として出場しなかったため、第3日目70球の投球が可能。第4日目は40球の投球が可能、第5日目は連続する2日間で70球を超えたため投手・捕手として出場できない。
投手C	40	30	休	70	40	ジュニアは3連投（連続する3日間）は禁止する。第3日目は2連続する2日間で70球を超えていないが、2連投したため捕手としても出場できない。第3日目を投手として出場しなかったため第4日は70球の投球が可能、第5日目は40球の投球が可能。
投手D	70	40	休	70	40	1日70球以内、2日間で110球以内。連続する2日間で70球を超えたため、翌日は投手・捕手として出場できない。第3日目に投手として出場しなかったため、第4日目は70球の投球が可能。また第5日目は40球の投球が可能。
投手E	70	0	70	20 20	休	1日70球以内、翌日投手として出場しなかったため、第3日目は70球の投球が可能。第4日目は40球の投球が可能。第5日目は連続する2日間で70球を超えたため投手・捕手として出場できない。 ※ 1日の試合数を問わず
投手F	35	30	休	70	30 10	2日間で70球を超えていないが、3連投（連続する3日間）はできない。第3日目は2連投したため、捕手としても出場できない。 第4日目は70球の投球が可能、第5日目は40球まで投球可能。 ※ 1日の試合数は問わない

※数字は投球数。「休」は投手または捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

3. 愛知県中央支部の取組み事項

- ・投球カウンターを使用
- ・審判は基本的にカウントしない
- ・本部席にて役員が両投手の投球数をカウント
- ・イング終了後に球数を確認、場内アナウンス
- ・投手が80球に達した時に場内アナウンス

	1
Aボーイズ	⑫
Bボーイズ	⑩

例) Aボーイズ〇〇投手、2回の表の投球数は9球、トータル21球です。（2回表終了後にアナウンス）

Bボーイズ〇〇投手、2回の裏の投球数は7球、トータル17球です。（2回裏終了後にアナウンス）

Aボーイズ〇〇投手、投球数が80球になりました。

With コロナにおける感染拡大防止対策のガイドライン

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い連盟として感染防止のガイドラインや各種通達を適宜発出してきたが、With コロナ時代を迎え、この間の通達に関する運営上の課題など協議・検討し、新しくガイドラインを次のとおり定める。よって先に出された通達等を解除し、以降、次のとおり本通達(ガイドライン)に置き換えることとする。

1.ボーイズリーグの活動における基本注意事項(以下、「基本事項」という。)

(1)活動参加に際して

- ①選手・指導者・保護者等・役員等すべての関係者は、当日の検温を図り、熱・風邪症状(喉痛、咳、痰、呼吸症状)等の体調に異常がある場合は参加不可とする
- ②感染拡大期はもとより、活動への参加を強制するのではなく、選手の保護者から同意をとり、チームとして常に参加の意思を確認しておくこと

(2)次の場合はマスク着用を義務付ける。

- ①人との距離横 1m、前方 2mの距離が取れない場合(基本距離)
- ②指導者等は、指導中はマスク着用を基本とする(グラウンド外では下の③と同じ)
- ③基本距離をとれない場合、フロント・保護者等の集まり・活動についてもマスク着用を基本とする。ただし、熱中症に注意するため基本距離を置いてマスクを外すこと。
- ④屋内での活動は原則マスク着用。ただし、選手が練習・トレーニングする際にはマスクは不要とする。この場合でも一定の距離をとり、指導者等大人はマスク着用とする

選手はグラウンド内の練習・試合等においては上記①の基本距離、程度の間隔を十分にとるように配慮すれば、練習中、選手はマスク不要とする

(3)昼食等飲食時の注意

15分を超える飲食を伴う場合は、2mの距離をとること。ただし、大きな声で会話を伴う飲食は話す時間に関係なく2m以上、人との距離をとること

(4)手洗い・うがい、消毒の慣行

活動の際には、食事前はもとより、活動中に、こまめな手洗い・手指消毒・うがいと使用後の備品の消毒などの慣行をチームとして義務づけること

(5)以下の備品・消耗品をチームとして常備する

チームは手指用消毒薬、備品用消毒薬、体温計、ペーパータオル等を常備すること

(6)活動参加者の把握について(感染発覚時の感染拡大防止のため)

チーム及び大会等の主催者は、活動における参加者を常に把握しておくこと。

2.主催大会、地区大会の注意事項

(1)大会開会式、閉会式について

- ①会場の了承のもと、会場の規則と以下の事項を遵守したうえで開催を認める
- ②マスク着用の上、1m以上の間隔をあけること
- ③主催者のあいさつ等は距離をとりマスク不要でよいが、マイク等の備品については終了後消毒を行い、利用者は手洗いと手指消毒を十分に行うこと
- ④式はできる限り簡素化し、短時間での式運営に努めること

(2)大会運営について

- ①室内本部は必要最低限の者で運営し換気や密を避けマスク着用を義務付ける
- ②球場責任者は、各担当者を配置して密にならないよう指導し、消毒液・手洗い用ハンドソープ等を適宜設置すること(本部席、ベンチ、トイレなど)
- ③試合開始1時間前に大会本部に到着すること。早く到着した場合は、大会本部・球場付近には集合せず、離れた場所で選手、保護者等に密を避け待機させること
- ④大会参加チームは、チーム責任者が登録役員・選手名簿、オーダー表、「新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿(別紙 1= HP 申請書類一覧 6-1)」を本部受付に提出すること
- ⑤チーム到着時、帰途時の挨拶はしない
- ⑥試合前審査は審査証確認及び道具審査のみとし、代表のみが立ち会うこと
- ⑦球場入場前に大会本部役員はチーム全員に検温、アルコール消毒を実施すること
- ⑧試合開始に際し、球場責任者がホームベース前で審判員・指導者・選手等に「基本事項」の1-(2)を確認させ、試合中は、チーム責任者は同1-(2)をチーム内で徹底させること(観戦保護者等含む)
- ⑨審判は基本マスクを着用すること
- ⑩チーム責任者は試合終了直後の手洗い手指消毒を実施するように指導すること
- ⑪試合終了後は密を避けるために速やかに会場から解散すること
- ⑫接待・運営は密を避けて行うこと。特に飲食時の注意事項を遵守すること。飲料等については、配膳する前に手洗い・消毒の慣行と感染防止に配慮し使い捨てや容器のこまめな洗浄を実施すること

⑬その他細目については、大会主催者が本ガイドラインの趣旨に基づき大会運営細目等を別途定めて大会を運営することとする

3.遠征・合宿等、入部歓迎会・卒部式・祝勝会・納会・新年会等の注意事項

(1)練習試合・遠征について

- ①練習試合は、特に相手チームとの交流については「基本事項」を遵守すること
- ②都道府県をまたがる遠征については、当該自治体・教育委員会の規制に従うこと
- ③移動の際には、車中の換気を行い、マスク着用、会話を控えること
- ④宿泊を伴う遠征は、宿泊先と協議の上、「基本事項」の遵守とソーシャルディスタンスに配慮したシングルユースを基本に食事時等に感染防止策を講じること。特に指導者・保護者等の大人は、酒類を伴う密になる長時間の飲食は自粛すること

(2)入部歓迎会・卒部式・祝勝会・納会・新年会等について

- ①当面は屋内での飲食を伴う開催に当たっては、事前に会場設営図や感染防止策を講じた開催要項について書面で支部長を通じて提出しブロック長の承認を得ること
- ②会場との協議の上、3密を避け、ソーシャルディスタンスに配慮した設営を基本に、「基本事項」を遵守すること
- ③酒類等の飲食を伴う場合は、会場との協議を行い、「基本事項」を遵守した感染を避ける措置を講じること(会食には仕切り板や約2mの間隔が必要で乾杯時の人との距離に配慮し、酌の交換は禁止する等)
- ④屋外での開催は、「基本事項」を遵守し、特に飲食時の注意事項を遵守すること

4.チーム内で感染者が出た場合の対応・対策について

(1)選手・指導者等の同居家族が陽性となった時

- ①陽性判明後速やかにチームに報告すること(普段からチーム内で連絡徹底を指導)
- ②当該選手等は基本、濃厚接触者となるため、当該陽性者がホテル・入院等に隔離された日の翌日から14日間の活動を禁止とする。なお、当該陽性者が隔離されない場合は、当該陽性者の健康観察解除日の翌日から14日間の活動を禁止とする。(別紙2=HP申請書類一覧6-1「感染から発病・療養(健康観察)解除までのイメージ図」参照：健康観察期間とは、当該陽性者の検査実施日または症状発症の翌日から10日間であり、隔離されない場合は最長24日間の活動禁止となる)
- ③その選手等がPCR検査を受けて陰性が判明したとしても②と同じとする
- ④報告を受けたチームは、大会開催中であっても活動を直ちに停止すること
- ⑤選手等や陽性の同居家族からのチームへの感染の可能性は保健所・保健福祉センター(以下、「保健所等」という。)が陽性者に対して疫学調査を実施して判断すること

とから保健所等の判断を待って活動再開の時期を考えること

(2)選手・指導者等が陽性となった時

- ①選手等が PCR 陽性となった場合は、保健所等が入院や自宅療養等の期間を指示するので、その期間は活動禁止とする(検査実施日または症状発症の翌日から概ね10日間)
- ②保健所等による濃厚接触者の判定による指示ができるまでチームの活動を停止する。
- ③したがって、チーム代表及びチームの構成員は保健所等の調査に協力すること
※チームは集団であり個人への連絡またはチーム代表に保健所等から連絡が入る
- ④保健所等の指示に従い、活動再開時期を考える。

(3)大会期間中の連盟等報告について

- ①大会期間中に参加しているチーム関係者に陽性者が判明した場合は、当該チームの代表者は、活動停止措置をとり、速やかに大会運営本部及び支部長を通じてブロック長に報告すること
- ②大会主催者は、本通達の基本事項に照らして感染拡大の恐れがあると判断した場合は、直ちに大会を中止・延期にするか、または、当該チームと対戦・接触したチームに対する出場辞退等を検討する。なお、判断に当たって基本事項に照らしても判断が困難な場合は、管轄の保健所等と協議したうえで決定する方が望ましい
- ③報告を受けたブロック長が感染拡大の恐れが高いと判断した場合は上記によらず連盟本部と協議の上、中止・延期等の決定ができることとする。また、連盟主催の大会においては、これを会長が判断する。

(4)その他

選手、チームへの差別偏見につながることから陽性者発生情報に関しては、詮索、公表等については避け、プライバシー保護に努めること

以上、「With コロナにおける感染拡大防止対策のガイドライン」としての本通達を遵守した上でボイスリーグの活動に努めることとされたい。

ガイドラインにおけるQ&A

Q1:基本距離に配慮して選手も指導者も練習中にマスクをしないとしているが「指導者等は、指導中はマスク着用を基本」とするのはなぜか？

A1:こどもより大人がうつす確率が高いこと。さらに指導中は近距離になったり、大きな声を出したりすることが多く、選手に飛沫が飛ぶため基本をマスク着用とした。周りの選手との距離が5m以上とかがあれば問題はないが、練習中に基本距離を常に意識して行動することが困難なためそう規定した。

Q2:基本距離を確保できなければ、絶対マスクは必要か？

A2:ウィルスを沢山含んだ飛沫は約1.5mで放物線を描いて落下することから屋内では約2mをソーシャルディスタンスとしている。一方、屋外では風もあり拡散されるのでできれば1m間隔と言われているが、少年野球は声を出すことを基本にしてきたので、できる限り距離をとった方が良く考える。今回、選手は練習や大会は屋外かつ常時密接にならないと考えるため絶対にマスクは必要とは言いきれない。このため、双方の理屈から基本距離「程度」をとればマスク不要とした。

なお、こども同士での感染の可能性はグラウンドより、グラウンド外での密着や近距離での長時間のおしゃべりや食事中に会話しながら食べる飲食時に注意すべきと考える。

Q3:旧ガイドラインでは大会時等に捕手は一人で準備するとか、都度の道具の消毒等の規定があっが、今回外した理由は？

A3:屋外での活動であり、こども同士の感染が起こりうる可能性が高いのは、飛沫感染より、接触感染と考えたこと。また、濃厚接触の定義では、マスクを外しての近距離での15分間の接触とされていることから捕手の準備は短時間であることから特に定めず、また、接触感染を避けるために道具等の消毒が必要ではあるが、それより、道具を触った手をこまめに手洗いし消毒する方が、効率的であるため規定を削除し、新たに新ガイドラインに「1-(4)手洗い・うがい、消毒の慣行」を追加した。道具はかたづけの際に備品等の消毒と合わせて消毒を行えばよいとした。

Q4:旧ガイドラインや通達では、大会参加同意書が義務付けられていたが今回は規定していないのはなぜか？

A4:選手や保護者は大会に出たいと思うのが通常であり、全員に毎回、負担がかかるため。ただし、感染拡大期になると親にも不安が広がり、現に連盟にも投書が寄せられて

いる実態も鑑み、同意書という形ではなく、新ガイドラインの基本事項の(1)-②「活動への参加を強制するのではなく、選手の保護者から同意をとり、チームとして常に参加の意思を確認しておくこと」を設け普段からのチームの確認事項とした。ただし、大会によっては主催者側で細目等を設けて同意書を取ることでない。

Q5:旧ガイドラインでは「試合間隔は試合時間含め 3 時間を取り」という項目が削除された理由は？

A5:感染防止対策についてボーイズリーグ内で一定の認知がされたこと。屋外でもあり、密にならない状態を作れる球場周辺の環境がある場合も多く、一律に時間を規定するとローカル大会の開催や支部予選の日程が取れなくなる場合も出てくる。このため、新ガイドラインの2-(2)-③「試合開始 1 時間前に大会本部に到着すること。早く到着した場合は、大会本部・球場付近には集合せず、離れた場所で選手、保護者等に密を避け待機させること」とした。なお、大会によっては待機場所に苦慮する場合等があれば、別途細目で旧ガイドラインのような措置等を規定すればよいと考えている。

Q6:「新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿(別紙 1)」に当日の体温を測る項目があるのに、大会会場での入場前にも体温を測るとするのは、二度手間であり、どちらかに統一した方が良いのではないか？

A6:別紙 1 はチームでの体温管理を徹底させるもので、新ガイドライン 1-(1)-②にも規定しておりチーム管理の一環である。一方で球場責任者にも管理義務があり、体温計測を行うということが感染防止対策を講じている大会として社会に認められるため。

Q7:旧通達では保護者等観客の 25 人制限があったが、今回規定がないのはなぜか？

A7:新ガイドラインどおりにチームが徹底すれば、密にもならず、基本、屋外での観戦という環境を考慮すれば、一律に人数制限を設ける必要がないと考える。また、新ガイドラインでは屋内での規定も設けており対応可能である。

なお、球場によっては人数制限がある所もあるので、その場合は大会運営者が別途細目等で規定すればよい。

Q8:新ガイドライン 4-(1)は濃厚接触者の定義であり、チーム関係者はこの時点では濃厚接触者の濃厚接触者となり、チーム全体の活動を停止する必要があるのか？

A8:保健所等の調査に日数がかかるため、当該濃厚接触者がすでに発症しているのか、感染可能時期はいつなのか等の状況が正確に把握できないため、チーム内の誰かに感染させた可能性も否定できない状態であり、情報が入ってきた時点で活動を停止させることにより感染拡大をいち早く防止するため。後日、保健所等の調査結果により、感染の可能性が判断され、その時点で、活動開始時期を検討すればよいと考える。

新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿

大会

(毎試合提出)

 球場責任者殿

支 部 名
チ ー ム 名
代 表 者 名
連 絡 先

参加者計	人
------	---

No.	参加種別 指導者、 選手保護者等 (○を付ける)	氏 名	体温	No.	参加種別 指導者、 選手保護者等 (○を付ける)	氏 名	体温
1	指・選・保		℃	26	指・選・保		℃
2	指・選・保		℃	27	指・選・保		℃
3	指・選・保		℃	28	指・選・保		℃
4	指・選・保		℃	29	指・選・保		℃
5	指・選・保		℃	30	指・選・保		℃
6	指・選・保		℃	31	指・選・保		℃
7	指・選・保		℃	32	指・選・保		℃
8	指・選・保		℃	33	指・選・保		℃
9	指・選・保		℃	34	指・選・保		℃
10	指・選・保		℃	35	指・選・保		℃
11	指・選・保		℃	36	指・選・保		℃
12	指・選・保		℃	37	指・選・保		℃
13	指・選・保		℃	38	指・選・保		℃
14	指・選・保		℃	39	指・選・保		℃
15	指・選・保		℃	40	指・選・保		℃
16	指・選・保		℃	41	指・選・保		℃
17	指・選・保		℃	42	指・選・保		℃
18	指・選・保		℃	43	指・選・保		℃
19	指・選・保		℃	44	指・選・保		℃
20	指・選・保		℃	45	指・選・保		℃
21	指・選・保		℃	46	指・選・保		℃
22	指・選・保		℃	47	指・選・保		℃
23	指・選・保		℃	48	指・選・保		℃
24	指・選・保		℃	49	指・選・保		℃
25	指・選・保		℃	50	指・選・保		℃

★感染から発病・療養(健康観察)解除までのイメージ図

★最大の問題は、いつ発病するのかは誰にもわからない

14日 前	13日 前	12日 前	11日 前	10日 前	9日 前	8日 前	7日 前	6日 前	5日 前	4日 前	3日 前	2日 前	1日 前	発症日	11日	12日	13日	14日	15日	17日
															解除					

感染者
この14日間のどこかで感染していた
いゆる潜伏期間
自宅療養(自宅内隔離)・ホテル療養・入院・重症者病棟
感染力強い
感染力有

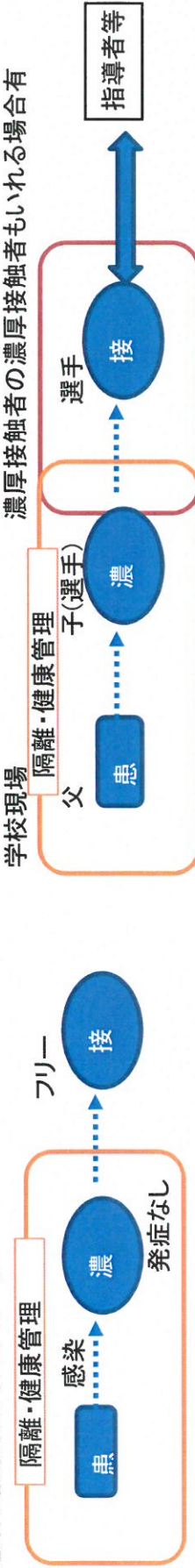
単なる接触者
この期間に過ごした人
関係なくフリー

濃厚接触者
この期間に定義通り濃厚な接触があれば、感染しているとみなし、今後、発病しないか経過を見る健康観察として「隔離」

例1)	最終接触	自宅待機・毎日健康観察	14日目	解除
例2)	最終接触	自宅待機・毎日健康観察	14日目	解除
例3) 同居家族	最終接触	患者と同居	最終接触 1日目2日目3日目4日目	14日目 解除

★健康観察期間は最終接触日で決まる。このため陽性者が同居し続けると接触が続くので最終接触日が決まらず、結果、健康観察期間が延々と続くと
め同居者がいる陽性者は早期のホテル療養等を希望して、早く「隔離」する必要がある。

★患者と接触者の管理イメージ



愛知刈谷ボーイズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	鈴木直実 西川浩司 海本昭太 田中亮二		
背番号	氏名	学年	
主将 9	田中 豊斗	3年	
1	戸田 虎汰郎	3年	
2	藤田 琥次郎	3年	
3	太田 大雅	3年	
5	青木 結矢	3年	
6	松島 諒汰	3年	
8	神谷 陽太	3年	
10	田ノ上 海空	3年	
11	前田 昊星	3年	
12	内山 漣	3年	
13	後藤 友幸	3年	
14	青木 瑛汰	3年	
15	後藤 輝侑希	3年	
16	金原 正賢	3年	
17	浅原 健太	3年	
18	松尾 泰佑	3年	
19	深見 功建	3年	
20	原田 蒼真	3年	
21	池田 遼都	3年	
23	水上 航琉	3年	
25	南山 藍琉	3年	
27	川端 朗仁	3年	
28	石川 遙飛	3年	

愛知知多ボーイズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	濱野晃一 高山利秋 高邊弘貴 渡邊真吾		
背番号	氏名	学年	
主将 51	中野 颯飛	3年	
0	岩下 颯真	3年	
1	隈部 条	3年	
2	荒木 海璃	3年	
3	山田 翔太	3年	
5	榎場 皓太	3年	
6	大堀 蓮斗	3年	
8	澤田 亮汰	3年	
10	川田 大葵	3年	
11	杉浦 成海	3年	
13	杉浦 仙太郎	3年	
17	竹内 春澄	3年	
18	立松 海斗	3年	
23	安藤 優哉	3年	
27	川添 翼	3年	
30	下田 健太	2年	
31	林 佑真	3年	
33	黒澤 慧	3年	
36	柴田 真徳	3年	
41	野村 空巨	3年	
55	尾崎 漣哉	3年	
64	竹内 尚輝	3年	
70	藤田 琉輝	2年	
0			
0			

愛知港ボーイズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	小河徳和 堀田将司 大須賀辰郎 糸井川誠		
背番号	氏名	学年	
主将 99	ラマル キービン ラタナヤク	3年	
2	阪野 夢一斗	3年	
3	鈴木 勇篤	3年	
4	西川 怜佑	3年	
6	野々山 翔也	3年	
9	林 亮太郎	3年	
10	大江 晃誠	3年	
11	生方 康瑛	3年	
12	宮島 陽平	3年	
13	周防 類斗	3年	
16	西岡 依丸	2年	
18	伊藤 璃空	2年	
20	矢野 仁貴	3年	
22	加藤 憂	3年	
23	早川 諒	2年	
26	金本 誠史	2年	
28	武智 遥士	2年	
30	太田 悠斗	3年	
34	太谷 大弥	3年	
41	辻 莉來	3年	

東海中央ボーイズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	松尾勝二 竹脇賢治 阪野治英 谷口智英		
背番号	氏名	学年	
主将 7	東 伸之輔	3年	
0	井本 涼雅	3年	
1	伊藤 大成	3年	
3	満永 龍飛	3年	
4	大石 昇己	3年	
6	石川 壮真	3年	
8	本部 涼太	3年	
9	市野 慎也	3年	
11	宮地 涉	3年	
12	加藤 健心	3年	
13	岩瀬 雄星	3年	
16	岡江 伸英	3年	
18	小笠原 将仁	3年	
19	沖 悠人	3年	
20	谷口 慶馬	3年	
22	高橋 崇輝	3年	
23	島田 航	3年	
33	宮下 統希	3年	
51	篠田 光一	3年	
55	谷口 爽	3年	
62	水谷 伊吹	3年	
70	岡部 純陽	2年	
71	村上 颯	2年	
72	加藤 龍之介	2年	
99	山本 新之助	3年	

三好東郷ボーイズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	鳥居 剛也 安達 豪也 杉田 好希 中島 明弘		
背番号	氏名	学年	
主将 27	堀 央 征	3年	
0	平 松 蒼 唯	3年	
1	岡 田 樹 磨	3年	
5	下 川 輝 流	3年	
6	村 田 涼	2年	
15	金 子 瑛 士	2年	
16	大 島 元 晴	2年	
17	榎 健 二 郎	3年	
24	木 本 優 斗	3年	
29	酒 井 稜 真	3年	
33	岩 田 朔 弥	2年	
39	安 倍 涼 真	3年	
42	中 平 巨	3年	
49	小 酒 井 楓 麻	3年	
56	高 島 倅	2年	
69	金 原 優 大	3年	

愛知安城ボーイズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	西脇 利侑 幸吾 西脇 正 吾晃史 橋 川 本 匡 史		
背番号	氏名	学年	
主将 5	川 分 颯 人	2年	
1	萬 部 光 祐	2年	
2	外 山 成 竜	2年	
3	鈴 木 陽 太	2年	
4	石 川 稜 馬	2年	
6	中 山 達 椰	2年	
7	千 葉 心 楽	2年	
9	伊 藤 快 晟	2年	
10	鈴 木 夢 人	2年	
16	大 前 林 太 郎	2年	
18	鈴 木 煌 人	2年	
19	磯 谷 彰 吾	2年	
22	土 谷 琉 斗	2年	
23	中 井 惺 乎	2年	
24	出 口 達 也	2年	
32	丸 慶 太 郎	2年	
33	椎 野 弘 基	2年	
46	鍋 内 比 呂	2年	

名古屋中央ボーイズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	樋田 善光 角 将 人 竹内 文 明 竹内 晃 右		
背番号	氏名	学年	
主将 21	落 合 大 晴	3年	
12	二之湯 慶 亮	3年	
13	竹 田 菟	3年	
14	渡 辺 眺 成	3年	
20	木 谷 陸 人	3年	
22	武 藤 寛 征	3年	
25	小 野 澤 航 洋	3年	
26	多 賀 大 和	2年	
27	宝 剣 和 翔	3年	
28	伊 藤 剛 琉	3年	
29	杉 本 誠 志 郎	3年	
30	杉 本 健 太	3年	
31	竹 内 巴 琉	3年	
32	神 農 雄 大	2年	
33	山 田 朔 也	3年	
34	日 和 田 凌 多	3年	
35	原 田 広 大	3年	
36	加 世 田 煌 大	2年	
39	長 野 晴 太	3年	
41	川 合 泰 地	3年	
44	奥 村 凌 太	2年	
56	柴 田 恭 吾	3年	
61	本 田 大 翔	2年	
62	奥 村 優 翔	3年	
99	秦 傑	2年	

愛知名港ボーイズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	友田 淳雄 奥 村 尚 森 下 智 貴 奥 村 治		
背番号	氏名	学年	
主将 0	原 田 悠 太 郎	3年	
1	鷓 飼 厚 希	3年	
2	野 上 士 耀	2年	
6	前 田 蓮	2年	
9	深 谷 凜 太 朗	3年	
10	口 野 駿 太 朗	3年	
12	浅 田 健 輔	3年	
13	児 玉 朔 大 朗	3年	
17	安 部 遼 平	3年	
18	畠 下 龍 空	2年	
19	西 田 圭 吾	3年	
20	佐 藤 息 吹	3年	
23	岡 田 良 光	3年	
24	杉 本 龍 之 介	2年	
27	岡 田 良 貴	3年	
29	阪 野 拓 海	3年	
30	田 中 翔 也	3年	
35	小 川 隼 之 介	2年	
44	川 尻 結 大	2年	
51	川 島 啓 瑚	2年	
88	阿 部 竜 誠	3年	

名古屋ボーイズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	田中秀明 水谷孝 中村大助 工藤知久		
背番号	氏名	学年	
主将 2	工藤 翼	3年	
0	杉野 琥太郎	2年	
1	平山 大勢	2年	
4	西岡 大豊	2年	
5	青山 侑生	2年	
6	杉山 允健	3年	
8	廣瀬 煌大	2年	
9	加藤 聖土	2年	
10	加藤 勝喜	2年	
14	羽田 颯之介	3年	
15	吉田 優翔	2年	
17	福中 葉月	2年	
18	中里 唯人	3年	
21	中青 沼悠	2年	
25	三谷 悠	2年	
56	二村 輝太郎	2年	
88	渡邊 優太	2年	

愛知セントレアガールズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	阿部充則 小島康弘 黒石英二 松永郁男		
背番号	氏名	学年	
主将 1	片沙南	3年	
3	杉浦 陽乃	3年	
4	大西 結菜	3年	
5	佐々木 悠花	2年	
6	山本 萌	3年	
7	石井 夢愛	3年	
8	片紅葉	2年	
10	春田 桃歌	2年	
11	小野田 光莉	2年	
17	椎名 華子	3年	
27	黒石 菜々子	2年	
44	藤井 陽菜	2年	

愛知知立ボーイズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	土屋尚史 西川弘樹 横井俊雄		
背番号	氏名	学年	
主将 6	富田 陽日	3年	
2	神谷 樹	2年	
4	前田 明德	2年	
5	加藤 優心	3年	
7	矢田 都恭	2年	
8	越山 市温	3年	
10	稲垣 光晟	2年	
11	近藤 慎之介	2年	
13	市野 透也	3年	
17	杉山 和紀	3年	
19	平賀 翔大	3年	
20	加藤 鳳大	3年	
21	加水 野汰	3年	
22	根本 蒼大	3年	
23	平松 大惺	3年	
24	川井 貴寛	3年	
25	塚本 貴太	3年	
27	間瀬 海翔	3年	

東名古屋ボーイズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	千田知弘 伊藤泰憲 中島聖		
背番号	氏名	学年	
主将 28	三浦 天和	3年	
2	和田 凌太郎	3年	
6	都築 拓真	3年	
13	山元 優成	3年	
18	内田 修太	3年	
19	野津 僚介	3年	
20	寺戸 大凱	3年	
22	佩川 新真	3年	
23	社本 琢真	3年	
24	飯田 椋大	3年	
26	竹内 龍飛	3年	
37	森下 桜海	3年	
39	大島 善也	3年	
41	鹿島 蓮矢	3年	
51	今山 結成	3年	
53	川瀬 泰成	3年	
59	加藤 航大	3年	
77	館 颯人	3年	
88	丸山 鉄平	3年	

名古屋緑ボーイズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	坂野晃嗣 内藤清貴 田中憲次郎 鈴木木経義		
背番号	氏名	学年	
主将 39	蟹江謙介	3年	
4	中村迅汰	3年	
6	青木耀	3年	
12	樽澤寛季	3年	
21	鈴木琉之介	3年	
24	川辺壮馬	3年	
25	鈴木翔悟	3年	
27	片山陸玖	3年	
30	杉浦隼颯	3年	
31	河原煌明	3年	
33	脇田翼土地	3年	
34	久村大地	3年	
35	高木虎太郎	3年	
36	沼田真紘	3年	
41	鈴木康頼	3年	
42	山田頼旺	3年	
43	栗田諒吾	3年	
49	小玉一秀	3年	
53	竹内佐智人	3年	
56	永石虎丸	3年	
65	光本匠馬	3年	
77	石川翔瑛	3年	
86	石木下晴斗	3年	
87	武輪温翔	3年	

豊田ボーイズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	多和田健次 釜田尚毅 安部隆信 野村隆寿		
背番号	氏名	学年	
主将 77	小林航	3年	
0	村田久遠	2年	
1	高洲凌央	2年	
2	上田響也	3年	
5	紺野凌也	2年	
10	清田凌平	2年	
11	板倉遥真	3年	
12	正垣馨一	2年	
13	野村應太	2年	
15	鈴木胡太朗	2年	
16	杉浦颯真	2年	
18	犬塚楓志	3年	
19	加藤翔亜	2年	
20	上田侑生	3年	
21	深田逢斗	3年	
24	福田凛空	3年	
25	福田悠斗	2年	
26	横澤琢巳	2年	
27	松嶋哉汰	2年	
31	松永空	3年	
99	今井大斗	2年	

中京ボーイズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	森福長義弘 大矢康博 袴田克彦		
背番号	氏名	学年	
主将 9	高屋優聖	3年	
1	富田悠月	2年	
2	松崎蒼太	3年	
3	古川快人	2年	
4	野崎陽真人	3年	
6	平原矢真人	2年	
7	服部聖人	3年	
11	松尾龍真	3年	
12	星野匡慶	2年	
13	池田怜央	2年	
14	山田雄治郎	2年	
16	川口賢人	2年	
17	伊藤智弘	2年	
19	伊藤智樹	2年	
25	村田澤始	2年	
27	野田凜	2年	
30	加藤竜稀	2年	
37	不破久凱	2年	
46	大口豊太郎	3年	
51	田口斗陸	3年	
86	中西晴琉	2年	
87	中村楓花	2年	

東海ボーイズ			
代表 監督 コーチ マネージャー	丸山晋弘 中野邦英 松本修治 宮本博司		
背番号	氏名	学年	
主将 15	宮本真司郎	3年	
1	川瀬陽翔	2年	
2	岡本力哉	2年	
4	岡本一倅	3年	
5	武田義弘	2年	
7	山崎翔太	2年	
8	水野創太	2年	
11	淵上麗音	2年	
17	溝下貴央	3年	
19	大野陸真	3年	
24	馬場陽斗	3年	
25	竹内理斗	3年	
28	印宮朝飛	3年	
30	岩崎千宗	3年	
34	竹内優弥	3年	
35	森田海翔	3年	
45	戸嶋洸志	3年	
48	杉山由真	2年	
51	皆川皓也	3年	
55	吉川敦	3年	
62	草野綾斗	3年	
84	坂本一虎	3年	

スポーツニッポン旗争奪大会歴代優勝・準優勝チーム

第1回	小学生の部	優勝	中京エンペラー	準優勝	小牧中京ボーイズ
(平成8年)	中学生の部	優勝	名古屋ファイターズ	準優勝	春日井ボーイズ
第2回	小学生の部	優勝	中京エンペラー	準優勝	春日井ボーイズ
(平成9年)	中学生の部	優勝	東海チャレンジャー	準優勝	中京エンペラー
第3回	小学生の部	優勝	東海チャレンジャー	準優勝	中京エンペラー
(平成10年)	中学生の部	優勝	名古屋ファイターズ	準優勝	春日井ボーイズ
第4回	小学生の部	優勝	東海チャレンジャー	準優勝	中京エンペラー
(平成11年)	中学生の部	優勝	東海チャレンジャー	準優勝	小牧中京ボーイズ
第5回	小学生の部	優勝	東海チャレンジャー	準優勝	春日井ボーイズ
(平成12年)	中学生の部	優勝	名古屋ファイターズ	準優勝	名古屋フレンズ
第6回	小学生の部	優勝	尾張ウイングス	準優勝	小牧中京ボーイズ
(平成13年)	中学生の部	優勝	東海チャレンジャー	準優勝	東名古屋スターズ
第7回	小学生の部	優勝	東海チャレンジャー	準優勝	春日井ボーイズ
(平成14年)	中学生の部	優勝	東海チャレンジャー	準優勝	東名古屋スターズ
第8回	小学生の部	優勝	東海チャレンジャー	準優勝	中京エンペラー
(平成15年)	中学生の部	優勝	名古屋ファイターズ	準優勝	愛知長久手ボーイズ
第9回	小学生の部	優勝	東海チャレンジャー	準優勝	尾張ウイングス
(平成16年)	中学生の部	優勝	稲沢中央ボーイズ	準優勝	名古屋フレンズ
第10回	小学生の部	優勝	尾張ウイングス	準優勝	東海チャレンジャー
(平成17年)	中学生の部	優勝	春日井ボーイズ	準優勝	愛知知多ボーイズ
第11回	小学生の部	優勝	東海チャレンジャー	準優勝	名古屋ファイターズ
(平成18年)	中学生の部	優勝	春日井ボーイズ	準優勝	愛知江南ボーイズ
第12回	小学生の部	優勝	東海チャレンジャー	準優勝	尾張ウイングス
(平成19年)	中学生の部	優勝	春日井ボーイズ	準優勝	名古屋クラブ
第13回	小学生の部	優勝	東海チャレンジャー	準優勝	愛知ダイヤスターボーイズ
(平成20年)	中学生の部	優勝	愛知知多ボーイズ	準優勝	東名古屋スターズ
第14回	小学生の部	優勝	春日井ボーイズ	準優勝	中京エンペラーズボーイズ
(平成21年)	中学生の部	優勝	東名古屋スターズボーイズ	準優勝	春日井ボーイズ
第15回	小学生の部	優勝	名古屋TLCボーイズ	準優勝	中京エンペラーズボーイズ
(平成22年)	中学生の部	優勝	春日井ボーイズ	準優勝	豊田ボーイズ
第16回	小学生の部	優勝	名古屋TLCボーイズ	準優勝	中京エンペラーズボーイズ
(平成23年)	中学生の部	優勝	愛知瀬戸ボーイズ	準優勝	東海チャレンジャーボーイズ
第17回	小学生の部	優勝	東海チャレンジャーボーイズ	準優勝	名古屋TLCボーイズ
(平成24年)	中学生の部	優勝	愛知瀬戸ボーイズ	準優勝	東海チャレンジャーボーイズ
第18回	小学生の部	優勝	中京ボーイズ	準優勝	愛知一宮ボーイズ
(平成25年)	中学生の部	優勝	愛知尾州ボーイズ	準優勝	愛知知多ボーイズ
第19回	小学生の部	優勝	中京ボーイズ	準優勝	稲沢中央ボーイズ
(平成26年)	中学生の部	優勝	東海ボーイズ	準優勝	尾張ボーイズ
第20回	小学生の部	優勝	小牧ボーイズ	準優勝	稲沢中央ボーイズ
(平成27年)	中学生の部	優勝	愛知尾州ボーイズ	準優勝	東海ボーイズ
第21回	小学生の部	優勝	稲沢中央ボーイズ	準優勝	岐阜ボーイズ
(平成28年)	中学生の部	優勝	東海ボーイズ	準優勝	愛知木曾川ボーイズ
第22回	小学生の部	優勝	東海ボーイズ・稲沢中央ボーイズ(雨天中止)	準優勝	-
(平成29年)	中学生の部	優勝	名古屋富士ボーイズ	準優勝	東海ボーイズ
第23回	小学生の部	優勝	-	準優勝	-
(平成30年)	中学生の部	優勝	愛知尾州ボーイズ	準優勝	東海ボーイズ
第24回	小学生の部	優勝	-	準優勝	-
(平成31年)	中学生の部	優勝	東海中央ボーイズ	準優勝	東海ボーイズ
第25回	小学生の部	優勝	-	準優勝	-
(令和2年)	中学生の部	優勝	中止	準優勝	中止
第26回	中学生の部	優勝	-	準優勝	-
(令和3年)					



スポニチ
Sponichi Annex

スポニチ
スポニチスクエア

スポニチ
ジュニア

スポニチ
スナック

目
スポニチ

スポニチ
Channel

KEIRIN **スポニチ**

BOATRACE
スポニチ

スポニチ
求人

スポニチ
Sponichi Plus



購読のお申し込みは… 東京・北海道0120-4612-10 大阪・名古屋0120-14-1356 西部093-511-8722